



平成21年8月7日

各 位

会社名 前田建設工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 小原 好一
(コード番号1824 東証第一部)
問合せ先 経営管理本部財務部長 佐藤 寿郎
(TEL 03-5276-5114)

子会社の業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である株式会社前田製作所（ジャスダック上場）が、本日、平成22年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正、繰延税金資産の取り崩し並びに配当予想の修正を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本件を踏まえた当社の連結業績予想につきましては、当社が本日発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

添付資料 株式会社前田製作所開示資料

「業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ」

以 上

各 位

会社名 株式会社前田製作所
 代表者名 代表取締役社長 土屋 俊一
 (JASDAQ・コード 6281)
 問合せ先 財務部長 高木 文雄
 電話番号 026-292-2225

業績予想の修正及び繰延税金資産の取り崩し並びに配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 21 年 5 月 13 日付け「平成 21 年 3 月期決算短信」にて公表いたしました平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間及び通期連結業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

1. 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,500	70	40	10	0.62
今回修正予想 (B)	10,000	△680	△690	△1,000	△62.23
増減額 (B-A)	△4,500	△750	△730	△1,010	—
増減率 (%)	△31.0	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 21 年 3 月期第 2 四半期)	15,856	△40	△28	△50	△3.13

2. 平成 22 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	30,000	390	320	150	9.33
今回修正予想 (B)	25,000	△220	△260	△600	△37.34
増減額 (B-A)	△5,000	△610	△580	△750	—
増減率 (%)	△16.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 3 月期)	30,905	94	68	66	4.16

修正の理由

サブプライムローン問題に端を発した世界経済の混乱は、あらゆる分野において急激な景気悪化を招いており、景気は停滞のまま推移しております。

当社グループが関係する建設業界は、前年度において急激な企業業績の悪化から中止・先送りになった民間設備工事が、先行きの不透明感から回復基調にないこと、さらに、政府の緊急経済対策により短期的に公共事業が増加するとの見込みでありましたが、未だ効果として現れていないことから、一層厳しい状況にあります。

当連結会計年度においても厳しい状況が続くとの認識のもと、中期経営計画「Maeda New Stage Plan」に基づき民間需要関連商品及び自社商品の販売並びに I T 分野の受注に取り組んでおりますが、第 1 四半期が経過した現在においても民間設備投資の抑制が続いており、急速な回復が望めない状況にあります。また、自社商品の海外への拡販においては、一頃の円高の進行は落ち着きを取り戻し、欧州を中心とした「かにクレーン」の海外需要は出始めているものの、やはり、急速な回復には至らない状況にあります。このような環境のもと、当第 1 四半期が予想を超える損益の悪化であったことに加え、以下に記載のとおり繰延税金資産の取り崩しを行うことから、平成 21 年 5 月 13 日付けにて公表いたしました連結業績予想の達成が困難であると判断し、第 2 四半期連結累計期間連結業績並びに通期連結業績予想数値を修正いたします。

今後は、当社の強みである開発力を活かし「差別化商品の早期市場導入」と需要変動に柔軟に対応できる「生産体制の構築」、レンタル機の効率的運用による「レンタル投資効率の改善」、徹底的な経費削減など「業務の効率化」に取り組み、業績の回復に努めてまいります。

個別業績予想数値は、個別情報の重要性を踏まえ、投資情報としての重要性が大きくないと判断しているため、公表を行っておりません。

3. 繰延税金資産の取り崩しについて

当社は税効果会計に関わる会計基準に則り、繰延税金資産を計上しておりますが、当第1四半期並びに今後の業績動向を考慮し、繰延税金資産の回収可能性につき慎重に検討しました結果、保守的な観点から、全額306百万円の取り崩しを行うことといたしました。

4. 平成22年3月期配当予想の修正等

(1) 配当予想修正の内容

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年5月13日発表)	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
今回修正予想		0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—				
前期(平成21年3月期)実績	—	0.00	—	3.00	3.00

(2) 配当予想の修正理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元のため、建設投資の動向に左右されない企業体質を実現することを重要な課題として掲げ、配当につきましては業績に応じて行うことを基本としたうえで、配当性向と内部留保の充実による企業体質強化を勘案して決定することを基本としております。

上記、業績の修正のとおり、通期連結業績において600百万円の当期純損失を計上する見込みであることから、誠に遺憾ではございますが、当初予定の1株当たり3円の期末配当を無配に修正させていただきたく存じます。

株主の皆様には誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。業績の早期回復に向けて努力いたす所存でありますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、平成22年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、本日付け「平成22年3月期第1四半期決算短信」にて開示しております。

以 上